

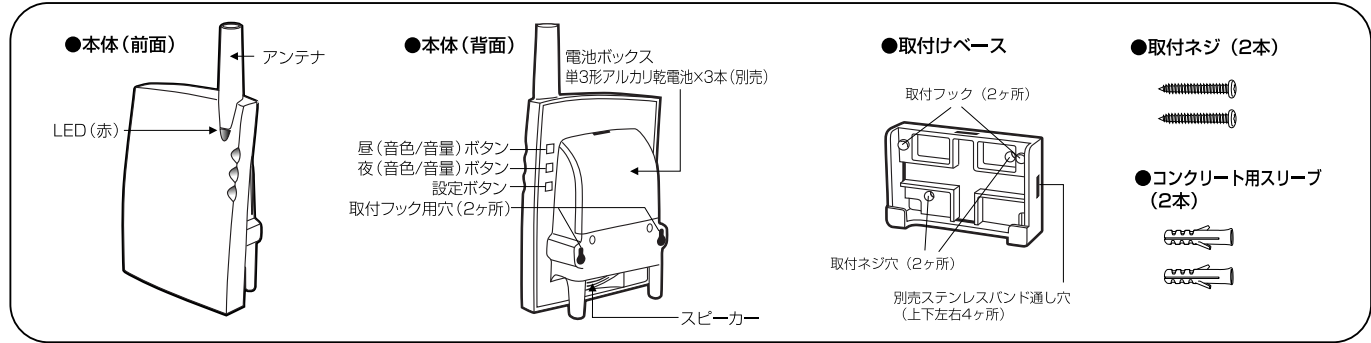
ワイレスアラーム/チャイム 増設用

※本製品は単独ではご使用できません。ESL-GH150 (G)、ESL-GH200 (G) との組み合わせでご使用になれます。

お客様へのお願い

お買い上げ、まことにありがとうございます。ご使用前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、この取扱説明書は必ず保管してください。

1 各部の名称と付属品



2 設定

●アラーム/チャイム（受信側）の設定を行なう前に、センサーライト（送信側）の取付、設定および動作確認を行なってください。

（1）アラーム/チャイム1台に対してセンサーライト1台を設置する場合

①電池ボックス上部の溝にマイナスドライバー等を差し込み、ひねるようにしてふたを開けます。（防雨構造のため、ふたが固めになっております。）	②電池ボックスに単3形アルカリ乾電池×3本（別売）を挿入すると、「ビビビビッ」という音が鳴り、「設定モード」が始まります。 ※初めてご使用される際に電池を入れても「設定モード」にならない場合（赤色LEDの点滅が開始されない場合）には、設定ボタン「ビビビビッ」と鳴るまで約5秒間押し続けてください。
③「設定モード」中は、本体前面の赤色LEDがゆっくり（4秒間隔）点滅します。	④電池ボックスのふたを元通りに閉めます。
⑤センサーライト（送信側）のセンサーを検知させ、電波信号を送信させます。	⑥アラーム/チャイム（受信側）が電波信号を受信すると、赤色LEDが高速点滅し、チャイム音1回（ピンポン）が鳴ります。これでセンサーライトの電波信号の記憶が完了しました。

音色の設定

⑦昼（音色／音量）ボタンおよび夜（音色／音量）ボタンを押して、昼、夜それぞれお好みの音色を選択します。ボタンを押すごとに音色が次々に切り替わります。最後に鳴らした音色で固定・選択されます。

アラーム/チャイムにあらかじめ設定されている5種類の音色＋無音

- チャイム音1回（工場出荷値） ●チャイム音2回 ●アラーム音 ●犬の吠える声 ●「センサーが反応しました。（女性の声）」 ●無音（ビッという音が鳴り、無音を示します。）

⑧設定ボタンを1秒間押すと（または最後にボタンを押してから2分経過後自動的に）、「ビッ」という音が鳴り、「動作モード」になります。

音量の設定

⑨「動作モード」中はいつでも音量を変更することができます。昼ボタンおよび夜ボタンを押して、昼、夜それぞれお好みの音量を選択します。ボタンを押すごとに音量が次々に切り替わり、最後に鳴らした音量で固定・選択されます。

アラーム/チャイムにあらかじめ設定されている6段階の音量

1（最小）▶2▶3（工場出荷値）▶4▶5（最大）▶音量OFF（ビッという音が鳴り、音量OFFを示します。）

設定後、音色を変える場合

設定ボタンを1秒間押すと、「ビビビッ」という音が鳴り、本体前面の赤色LEDがゆっくり（4秒間隔）点滅し、「設定モード」が始まります。その後上記⑤～⑧を行なってください。
※全ての設定をリセットするには、設定ボタンを5秒間押し続けてください。

（2）センサーライトを増設する場合 ※アラーム/チャイム1台に対してセンサーライト6台まで増設可能です

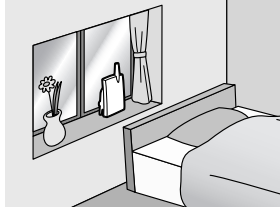
●設定ボタンを1秒間押し（ビビビッという音が鳴ります）、増設するセンサーライトで上記⑤～⑧の設定を行います。
2台目以降のセンサーライトでは、上記⑥の音色（ピンポン1回）が変わります。
・2台目:「センサーが反応しました。（女性の声）」 ・3～6台目:犬の吠える声

（3）センサーライト1台に対してアラーム/チャイム複数台を増設する場合 ※電波が到達する限り、アラーム/チャイムの台数に制限はありません

●それぞれのアラーム/チャイムで上記①～⑨の設定を行なってください。

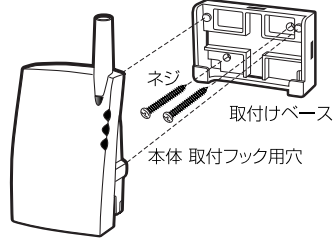
3 取付

（1）据え置き



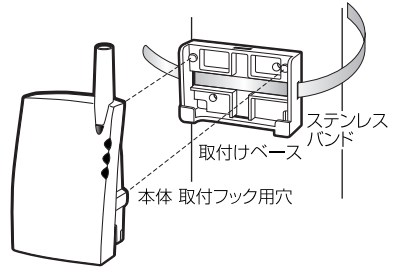
テーブル、出窓等に据え置いてご使用いただけます。

（2）取付ネジによる壁への取付



- ①取付ベースを付属の取付ネジで壁に水平に固定します。
- ②本体の取付フック用穴に取付ベースの取付フックを差し込み、しっかりと固定します。
※コンクリート壁の場合は、あらかじめドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開け、付属のコンクリートスリーブを打ち込んでからネジ止めしてください。

（3）ステンレスバンド（別売:弊社型番ESL-SB）によるボール・柱等への取付



- ①取付ベースにステンレスバンドを水平方向または垂直方向に通し、ボール・柱等に固定します。
- ②本体の取付フック用穴に取付ベースの取付フックを差し込み、しっかりと固定します。

- センサーライトからアラーム/チャイムへの電波の到達距離は見通しで約15mですが、設置環境により、距離が短くなります。（金属製のドア、鉄筋コンクリート、金網入り石膏ボード、ワイヤー入りガラス等は、電波が非常に通りにくく、アラーム/チャイムとセンサーライトの間にそのようなものがある場合、到達距離が短くなったり動作しないことがあります。）
- センサーライトとアラーム/チャイム間の距離が近過ぎる場合や、2台以上のアラーム/チャイムを至近距離に設置した場合、電波の相互干渉により音が鳴らない事があります。このような場合には、各機器間を離して設置してください。
- アラーム/チャイムの設置場所を決め、取付ネジやステンレスバンド（別売）で固定する前に、センサーライトからの電波がアラーム/チャイムに到達するか確認を行なってください。もし到達しない場合は、上記のような電波障害物を避け、アラーム/チャイムやセンサーライトの取付位置を変更してください。 ※15秒以内の短い間隔で送信された信号に対しては受信できない場合があります。

4 動作

（1）昼夜判別について

昼夜判別はセンサーライト内部の照度センサーによって行なっています。昼と夜の音色それぞれを有効にする場合には、センサーライトの点灯開始照度ツマミを「夜」に設定してご使用ください。「昼」に設定すると、夜ボタンで設定した音色／音量のみが有効となります。

センサーライト側が「夜」設定 ➡ 昼と夜の音色がそれぞれ有効	センサーライト側が「昼」設定 ➡ 夜の音色のみ有効

（2）動作

センサーライトが検知すると、赤色LEDが高速点滅し、設定した音色が設定した音量で鳴ります。
注）センサーライトが検知し、アラーム/チャイムに信号を送った後15秒間は、センサーライトからの新たな信号はキャンセルされ音が鳴りません。（キャンセルされた場合赤色LEDが高速点滅します。）

（3）電池の交換時期について

電池の交換時期が近づくと、赤色LEDが連続点灯（おおよそ3～7日間）し、設定した音色が鳴った後すぐ「ビビッ」と警告音が鳴ります。このような症状が出た場合はお早めに電池を交換してください。 ※電池を交換しても、設定していた内容はそのままになります。

！ 使用上のご注意

- 本品は非常に大きな音が発生します。聴力を傷つける原因となりますので、乳幼児の近くや耳元では絶対に鳴らさないでください。
- 本品は防雨構造で通常の雨には耐えますが、完全防水ではありませんので、多量の雨や水のかかる場所や湿気の多い場所には取り付けないでください。
- 変形や故障の原因となる為、次の事にご注意ください。
 - 暖房器具の近くなど高温になる場所ではご使用にならないでください。
 - 本品を分解・改造しないでください。
 - 油や煙のかかる場所でのご使用はおやめください。
- センサーライトからアラーム/チャイムへの電波の到達距離は見通しで約15mですが、設置環境により、距離が短くなります。（金属製のドア・鉄筋コンクリート・金網入り石膏ボード・ワイヤー入りガラス等は電波が非常に通りにくく、アラーム/チャイムとセンサーライトの間にそのようなものがある場合、到達距離が短くなったり動作しないことがあります。）
- 携帯電話やPHS、その他電波（ノイズ）を発する家電製品やOA機器の近くで使用すると、動作しなかったり誤動作する場合があります。

！ 安全上のご注意

- 電池は乳幼児の手の届かないところに置き、万一電池を飲み込んだ場合はすぐに医師に相談してください。
- 漏液の原因となる為、次の事にご注意ください。
 - 電池の⊕⊖の方向を正しく入れてください。
 - 古い電池と新しい電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
 - 長時間ご使用にならない時は、乾電池を取出してください。
 - 電池は充電しないでください。
- 電池のアルカリ液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガの恐れがありますのでこすらずすぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。